



GALA CONCERT

第1部

エルガー：「威風堂々」第1番 op.39-1
 サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 漆原啓子 (Vn.)
 フォーレ：エレジー op.24 水谷川優子 (Vc.)
 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23
 ～第3楽章 松田華音 (Pf.)
 ラヴェル：ボレロ

第2部「輝く未来に向かって」

今井光也＝古関裕而：
 東京オリンピック・ファンファーレ＝オリンピック・マーチ
 ガーシュウィン：歌劇「ポーギーとベス」～「サマータイム」 坂本 朱 (Mez.)
 ビゼー：歌劇「カルメン」～闘牛士の歌
 「諸君の乾杯を喜んで受けよう」 ヴィタリ・ユシュマノフ (Bar.)
 ヴェルディ：歌劇「イル・トロヴァトーレ」～「穏やかな夜」 小林厚子 (Sop.)
 ヴェルディ：歌劇「アイダ」～凱旋行進曲 合唱 (Chor.)
 プッチーニ：歌劇「トウランドット」～「誰も寝てはならぬ」 樋口達哉 (Ten.)
 ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 op.125 「合唱付」～第4楽章

【指揮】曾我大介
 【管弦楽】スーパー・クラシック・オーケストラ 【コンサートマスター】森下幸路
 【合唱】関西二期会合唱団
 【司会】松本志のぶ (フリーアナウンサー)

華麗なる ガラ・コンサート

クラシック・音楽が世界をつなぐ
 ～輝く未来に向けて～
 クラシック・キャラバン2021

2021 **11.12 (金)** 18:30 開演 (17:45 開場)

S席 6,500円 A席 5,000円 B席 3,500円 (全席指定 / 税込)

〈お問合せ〉岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010

岡山シンフォニーホール 大ホール

岡山県岡山市北区表町1-5-1

プレイガイド ■イープラス <https://eplus.jp/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード：62599]
 ■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード：201-064] ■岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
 ■岡山県音楽文化協会 086-224-6066 <http://www.okayama-onkyo.gr.jp/> ■ぎんざや 086-222-3244

主催：一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 共催：公益財団法人岡山文化芸術創造
 ※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
 ※平熱と比べて高い熱が確認された際には入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されていない方はご入場いただけません。※出演者との面会
 及び受付での花束・プレゼント等のお預かりはできません。※その他、感染予防対策等の詳細は、ホームページをご覧ください。 <https://www.classic-caravan2021.com>

公演WEBサイトは
こちら▶▶▶



CLASSIC



文化庁 大規模かつ質の高い
文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業

「クラシック音楽が世界をつなぐ」は、困難な状況におかれたクラシック音楽界を活性化させるために、一般社団法人日本クラシック音楽事業協会が企画した全国規模の公演プロジェクト。文化庁の「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の一環で、全国13か所19公演が今年9月～12月に行われ、トップ・アーティストから最近のコンクール優勝・上位入賞者まで、多彩なアーティストがこのプロジェクトに登場します。

プログラムは、華やかなピアノ協奏曲のフィナーレ「ラヴェル《ボレロ》、オペラのアリアなど古今東西のクラシック音楽の名曲に続き、ベートーヴェンの「第九」第4楽章で普遍的な人間愛を高らかに謳歌します。精鋭を集めた特別編成のオーケストラと合唱、そして人気・実力を兼ね備えたソリスト陣が多数出演する、このプロジェクトでしか味わうことのできない、絢爛豪華なガラ・コンサートです。

コンサートホールで、心ゆくまで音楽をお楽しみください。

文 道下京子

[指揮] 曾我大介 Daisuke Soga

プザンソン、コンドラシンの二大指揮者コンクール第1位。2015年にはベルリン響ベートーヴェン「第九」公演を指揮するなど世界各地で活躍を続け、2017年11月には長年活動を共にしているルーマニア・ブラショフ・フィルの日本ツアーを大成功に導いた。ルーマニア国立放送響首席客演指揮者、大阪シンフォニカー響(現・大阪響)音楽監督などを歴任し、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者。



[ヴァイオリン] 漆原啓子 Keiko Urushihara

第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少で日本人初の優勝。1986年ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝。漆原啓子が中心となり結成した「ひばり弦楽四重奏団」では、ベートーヴェン弦楽四重奏全曲演奏を活動の主軸とした長期プロジェクトを開始。国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。今年はデビュー40周年迎える。



(C) Eiji Shinohara

[チェロ] 水谷川優子 Yuko Miyagawa

祖父、近衛秀麿の遺志によりチェロを始める。桐朋学園大学ディプロマコースを経て、モーツァルテウム音楽院首席卒業。第6回東京国際室内楽コンクール優勝。イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝など多数受賞。現在、日本とベルリンに拠点を置いて各国の音楽祭にソリスト、室内楽奏者として招かれている。2018年8月出演のNHK FM「長崎・祈りの音色」は文化庁芸術祭ラジオ部門で優秀賞を受賞、大きな反響を呼んだ。



(C) Sakiko Nomura

[ピアノ] 松田華音 Kanon Matsuda

6歳よりモスクワで学ぶ。スクリャービン記念博物館より2011年度スクリャービン奨学生に選ばれ、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。2013年同校を首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学。2019年6月首席で卒業、同大学院に入学、本年6月に修了し、日本とロシアを拠点に演奏活動を行っている。



(C) Ayako Yamamoto

[ソプラノ] 小林厚子 Atsuko Kobayashi

東京藝術大学卒業、同大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。文化庁芸術インターンシップ研修員として渡伊。藤原歌劇団には2007年「蝶々夫人」でタイトルロールデビューし、同役で度々出演。18年「ナヴァラの娘」(日本初演)のアニタを演じ、好評を得ている。近年は新国立劇場でもプリマドンナを務めるなど、様々な公演で大活躍を見せている。藤原歌劇団団員。東京都出身。



(C) Yoshinobu Fukaya

[メゾソプラノ] 坂本 朱 Akemi Sakamoto

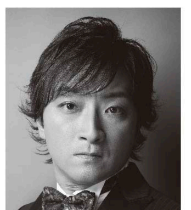
東京藝術大学、同大学院を経て、イタリア政府給費学生としてミラノのヴェルディ音楽院に学ぶ。トーティ・ダル・モンテ及びベッリーニ国際音楽コンクールで優勝。オペラ出演も数多く、豊かな表現力と圧倒的な存在感で高く評価されているほか、国際的な指揮者やオーケストラとも共演。



(C) Akira Muto

[テノール] 樋口達哉 Tatsuya Higuchi

福島県出身。武蔵野音楽大学大学院修了後ミラノ留学。ハンガリー国立歌劇場、スカラ座、メトロポリタン歌劇場管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。国内では新国立劇場や兵庫県芸術文化センター等に出演するほか「題名のない音楽会」「NHKニューイヤー・オペラ」等でも活躍。21年東京二期会コンチェルトアンテ『サムソンとデリラ』サムソンで出演。二本松市の観光大使。二期会会員。



(C) Fukaya Yoshinobu

[バリトン] ヴィタリ・ユシュマノフ Yushmanov Vitaly

サンクトペテルブルク生まれ。マリンスキー劇場のアカデミーで学び、ライブツィヒのメンデルスゾーン音楽演劇大学を卒業。2013年以來度々来日し、2015年より日本に拠点を移す。2019年に「ドン・ジョヴァンニ」のタイトル・ロール、2020年には「フィガロの結婚」、2021年4月には新国立劇場にて、「夜鳴きうぐいす」「イオランタ」に出演するなど多数のオペラに出演。日本トスティコンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位ほか受賞歴多数。



(C) Masaaki Hiraga

[司会] 松本志のぶ Shinobu Matsumoto (フリーアナウンサー)

浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、92年日本テレビ入社。「24時間テレビ」総合司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC等、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。09年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMC等も務める。「報知映画賞」選考委員やクラシックコンサートの司会、子どものための読み聞かせコンサートの朗読等、活動の場を広げている。



[合唱] 関西二期会合唱団

[管弦楽] スーパー・クラシック・オーケストラ [コンサートマスター] 森下幸路 Koji Morishita